事業番号	04 03 18	事業改善シート(26年度実施事業分)	口予算要	要求	口当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名 長野県メディカルコントロール協調		野県メディカルコントロール協議会			部局	健康福祉部	
尹 木 石	文判 ポアノイルルコンドロール 励機士			担 —— 当	課・室	医療推進課	
40 A = 1. F	プロジェクト			課	E-mail	iryo@pref.na	agano.lg.jp
総合5か年 計画	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり					
	ルネツ松石的展用	4 医療施策の充実		5113	実施期間	H17 ~	,

1 事業の概要

	目指す姿	救急救命士が実施した救急救命処置について、医師による医学的観点からのメディカルコントロール(指導・助言、事後検証、教育等) を通じて、救急救命処置の質の保障及び向上を図るとともに、救急患者の搬送及び病院の受入体制の構築を図る。				
	現状	・平成15年以降、順次、救急救命士による処置範囲の拡大(除細動・気管挿管・薬剤投与)があり、救急救命士の技術や知識の向上が必要である。・救急患者の受入状況については、受入困難事案の発生率が全国平均よりも大幅に低く、良好な状況が続いている。				
	県が関与 する理由	県でなければ実施不可(法令等義務) 消防法、長野県メディカルコントロール協議会設置要綱 県民との協働による実施:実施は困難				
İ		① 成果目標(H26)				

メディカルコントロール下での救急救命士による特定行為が適切に処置された割合:100%

② 事業内容

(単位:千円)

事	業	内	容
7	木	ניו	台

4	が 事業11分					(=	₩ 17. I I I I I
	項目	実施方法	E施方法 H26事業実績		H26		H27
			口20尹未夫順		(当初)	(決算)	(当初)
	県メディカルコントロール協議 会・分科会の開催	直接	県メディカルコントロール協議会・分科会	を1回開催	393	195	428
	気管挿管再教育講習の実施	直接	気管挿管再教育講習の実施(1回 18名	参加)	225	74	225
	救急患者受入実態調査事業	直接	救急患者受入実態調査の実施		372	178	372
	拡大二行為等追加講習の実施	直接	拡大二行為等追加講習の実施		-	-	1,498
				合計	990	447	2,523

	Σ	☑ 分(単位:千円)		24年度	25年度	26年度	27年度
	7		前年度繰越				
	予		当初予算	392	392	990	2,523
事	額		補正予算				
業	-		合計(A)	392	392	990	2,523
^			一般財源	392	392	618	653
⊐	Aσ.)	県 債				
_	財源 国原		国庫支出金			372	372
ス	^		その他	0	0	0	1,498
۲	決	算 額(B)		0	249	447	
	概	算	職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30
	人件		概算人件費 (C)	2,477	2,477	2,477	2,477
	概算事業費(B(A)+C)		2,477	2,726	2,924	5,000	

d							
成果目標の達成状況							
項目	H25末 (実績)		H27				
4月日		目標	成果	達成状況	目標		
メディカルコントロール下での救急救命士による特定行為が適切に処置された割合	100%	100%	100%	達成	100%		
拡大二行為等追加 実習の受講者数	-	_	-	-	80名		

目標に対 する成果 の状況

・県メディカルコントロール協議会を1回開催し、救急救命士の気管挿管機能維持のための講習を開催することで、救急救命士による特定行為が適切に処置された。

2 今後の事業の方向性

公 古安	□ 事業を実施しない □ 事業を見直して実施 ■ 事業を現行どおり実施
今後、事業 をどのよう	
にしていき たいか	メディカルコントロール体制を整備・構築することは、救急医療体制の確保のために重要であり、引き続き事業を実施していく。
たいが	